



拝啓 2023年下半年は、コロナ5類移行後、社会活動が正常化していく中で、夏の地域行事などにも積極的に参加させて頂きました。秋の臨時国会召集に先立ち、9月15日に新たに農林水産大臣政務官を拝命。兵庫県は農林水産県でもあり、これまでコロナ禍の影響をうけた事業者の方々のお声を国政に届けてまいりました。基幹的農業従事者は向こう20年で約120万人から30万人にまで激減、高齢化も進み、持続可能性と生産性向上の両立、国民一人ひとりの食料安全保障など待ったなしの課題が山積しています。現下の物価高への対処を含め、これから現場第一の姿勢を貫き、実効性のある政策を実現する中で、政治への信頼回復に努め、少しでも御期待にお応えできるよう、全身全霊働き振ります。敬具  
公明党 参議院議員 高橋 光男

Profile

農林水産大臣政務官。公明党学生局長代理、同兵庫県本部副代表、同兵庫県本部青年局長。参議院農林水産委員会委員、同東日本大震災復興特別委員会委員、防災士。

1977年、兵庫県宝塚市生まれ。阪神淡路大震災を経験。大阪外大(現・大阪大)在学中に外交官試験に合格し中退。外交官として、在ブラジル日本大使館一等書記官等歴任。ポルトガル語通訳官として首脳外交の一翼を担う。

2019年7月、第25回参議院通常選挙兵庫選挙区で初当選。2021年3月、中央大学法学部卒業。(2023年12月現在)座右の銘は「建設は死闘、破壊は一瞬」



SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、日本を含む国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げています。



次期衆院選の小選挙区予定候補紹介

兵庫2区 神戸市兵庫区、北区、長田区 西宮市塩瀬、山口支所管内 赤羽かずよし

1993年の衆院選で初当選。衆院当選9回。前国土交通大臣。65歳。国交相時代には、バリアフリーを強力に推進。特に、50年間進まなかった新幹線の車いす用フリースペースの拡充は、当事者団体から高く評価されている。また、地元住民の生活課題の解決にも尽力。県道神戸三田線の渋滞解消へ有馬口トンネル開通や、北神急行の市営化による料金値下げを実現。国道176号の4車線化にも全力を挙げている。



兵庫8区 尼崎市 中野ひろまさ



2012年の衆院選で初当選。衆院当選4回。元経済産業・内閣府・復興大臣政務官。45歳。党のエネルギー対策の責任者として、電気・ガス代が高騰し、家計を圧迫している現状を踏まえ、直接的な負担軽減対策を政府に訴え、実現。また、党の子育て政策をまとめる事務局長として、結婚・妊娠・出産から子どもが巣立つまでを一貫して支援する「子育て応援トータルプラン」の作成に尽力し、政府へ提言した。

高橋みつお ホームページはこちら!

<https://takahashi-mitsuo.com/> 高橋みつお 検索



YouTube「みっちゃんねる」  
国会での活動や、皆様に知っていただきたいこと。たくさんお話ししています。ぜひご覧ください!



Bridge the Future は「未来をつなぐ」という意味です。国と国、人と人に橋を架け、希望の未来をつなぐ。高橋の「橋=Bridge」と、みつおの「M」を組み合わせた決意を表したロゴです。

発行：公明党参議院兵庫選挙区第2総支部

兵庫事務所

〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16  
甲南第1ビル 1102号室  
TEL:078-367-6755 FAX:078-367-6756

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館 614号室  
TEL:03-6550-0614 FAX:03-6551-0614



大臣政務官  
農林水産大臣政務官就任(9/15)

Vol.9 参議院議員 高橋みつお 通信

最新情報を日々  
発信しています!  
ぜひご覧ください



LINEの  
友達追加は  
こちら! →





## 農林水産大臣政務官に就任 国政の重要課題に挑む!

第2次岸田第2次改造内閣において、農林水産大臣政務官を拝命しました(9/15)。農林水産分野は国民生活に直結する大変重要な分野です。調達から生産、加工、流通、消費に至るまで裾野の広い現場の声を政策に反映していく姿勢を忘れず、力の限り職務に当たる決意です。

就任以来、全国各地の農業研究や生産現場へ足を運んでいます。茨城県及び千葉県では農研機構及びスマート農業実証地区を視察(10/11)。石川県では農業遺産シンポジウム出席と併せて地域の農場を訪問し(11/10)、福島県では原子力被災地の営農再開状況視察やパックご飯製造施設の竣工式に出席しました(11/13,26)。



福島県富岡町にて玉ねぎの営農再開状況を伺う(11/13)

次期通常国会で予定されている「食料・農業・農村基本法」の見直しや不測時に食料を安定的に確保するための新たな法制度の整備、また、原発処理水放出に伴う中国による水産物禁輸の影響対策などの重要課題に全力で取り組んでまいります。



石川県能登島の有機野菜農家を訪問(11/10)



## 学生と積極的に交流 ウクライナ支援を推進!

公明党学生局長代理として、学生たちと積極的に交流を重ねています。学生局では、学生たちとオンラインで懇談する「夏休みQ&Aキャンペーン」を全3回実施(8/9,21,9/5)。高等教育費の負担軽減や若者の政治参画促進について意見を交わしました。また、11月には母校・中央大学の白門祭を訪問。地球温暖化をテーマとした展示を見学し、学生の皆さんと懇談しました(11/3)。

ウクライナ支援を引き続き推進しています。8月には同国から避難している芸術家の応援コンサート開催に協力(8/5 埼玉・ふじみ野市)。また、ウクライナの子どもたちのために活動中のミスプリティーンインターナショナル日本代表の白石望葉さん(10歳)と懇談しました(8/19)。さらに神戸学院大学の岡部彦彦教授らが主催する政治に関する大学合同ゼミ勉強会に、山口代表と共に参加。私からはウクライナ支援のあり方について講演しました(9/25)。



岡部教授ら主催の大学合同ゼミ勉強会に参加(9/25)



中央大・白門祭にて学生と懇談(11/3)

# 高橋みつおは SDGsを推進します!

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 5つのPとは

SDGsには「5つのP-People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership」という考え方があり、**人間、地球、豊かさ、平和**のための目標の実現を、国際社会のパートナーシップにより目指します。



地球



豊かさ



人間



平和と協働

## コラム1 総合経済対策で 物価高を上回る賃上げ実現へ

昨年来の物価高は経済・生活に深刻な影響を及ぼしています。私自身、現場を回る中で、資材価格や燃料価格の高騰の影響を大きく受ける事業者からの声を伺いました。公明党は、物価高に負けない持続的な賃上げを強力に後押しする施策と、それが実現するまでの生活防衛として「3つの還元策」(所得減税・給付・燃油代補助)を政府に提言。11月2日に閣議決定した総合経済対策に数多く反映されました。公明党の国・地方のネットワーク力を発揮して、対策の裏付けとなる補正予算を着実に執行し、物価高を上回る賃上げを実現してまいります。



賃上げの状況や物価高の影響についてお話しを伺う

## コラム2 BUZZ MAFF(ばずまふ)出演!

農林水産省では職員自らが、省公式YouTubeチャンネル(QRコード参照)でYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信しています。政務官として私が出演している動画もありますので、ぜひご覧ください!



BUZZ MAFF撮影風景

YouTubeはこちら!



## 兵庫県内各地を訪問 現場の声を国政へ!

7月には公明党兵庫県本部による政策要望懇談会を開催(7/3,4,14)。およそ60の団体から多岐にわたる現場の課題やご要望を頂きました。また、但馬地域や丹波地域での公明党兵庫県議団による政策要望懇談会にも参加しました(7/11,12)。公明党の国、県、市町のネットワークを生かして、要望実現に尽力してまいります。

今夏は、コロナ禍を経て久しぶりの盆踊り大会が県内各地で開催されました。私も伊丹市の陸上自衛隊千僧駐屯地(8/8)や神戸市内各地の盆踊り大会に参加しました。

9月の農水政務官就任後は、兵庫県内の農林水産現場にも積極的に訪問。スマート農業の推進や畜産農家の支援、持続可能な林業・海業(うみぎょう)の推進など、さまざまな課題・ご要望をお聞きしました。これらを農林水産省本省に持ち帰り、担当部署と協議を重ねて、一つひとつ丁寧に対応させて頂いています。



神戸市内の盆踊り大会にて(7/30)

## 政策要望懇談会



兵庫県本部政策要望懇談会に参加(7/14)



## 国際教育協力を推進 ECWへの初拠出を実現!

国際教育協力の推進に尽力してまいりました。途上国への教育支援を行う国際基金「教育のためのグローバルパートナーシップ(GPE)」のチャールズ・ノース副最高経営責任者(9/26)と対談(9/26)。気候変動危機を乗り越える教育分野での国際協力について意見を交わしました(対談は月刊公明2023年12月号に掲載)。

11月末に成立した令和5年度補正予算において、ついに我が国から「教育を後回しにはできない基金(ECW)」への初の拠出(300万米ドル、約4億円)が実現しました。2022年に国際教育協力のNGO団体からご要望を受けて以来、これまでECWのヤスミン事務局長と面会し(3/8)、NGOの皆様と外務省への説明・申入れを重ね、参院予算委員会でも岸田総理にECWへの拠出を求めてきました。これを新たな契機として、緊急期及び長期化する紛争下において教育を受ける権利を享受できない子どもへの国際的な支援も強化してまいります。



ノースGPE副最高経営責任者と対談(9/26)



ヤスミンECW事務局長と面会し意見交換(3/8)